

## (一財)北海道国際交流センター (HIF) 誕生のきっかけ



1979年、七飯町に早稲田大学から16名の留学生をホームステイさせたのが、草の根国際交流の初めとなったのです。これは、日本に住んでいながら学校と宿舍の往復だけで日本の家庭を知らずに帰国してゆく留学生たちに、日本を知る大きな機会を与えるものでした。

実際、留学生を一般家庭に受け入れ、2週間にわたり寝食を共にすることは、当時の人々にとっては画期的なことでした。この交流は留学生と受入家庭双方にとって感動的な2週間となり、全国紙にも取り上げられ話題となったのです。

この素晴らしい交流の機会を何とかして継続できないだろうかという思いが、一般財団法人 北海道国際交流センターの前身である南北海道国際交流センターの組織づくりへとつながってゆきました。以後、この交流は、「国際交流のつどい」として毎年行われ、今では夏、冬と様々な国から多くの留学生が北海道を訪れ、現在に至っています。

## (一財)北海道国際交流センター(HIF)の主な受賞歴

1982年	6月	第5回北海道青少年科学文化振興賞受賞
1984年	3月	国際ソロプチミスト日本財団千嘉子賞
1985年	10月	国際交流基金国際交流奨励賞地域交流振興賞受賞
1991年	7月	外務大臣賞受賞
1994年	2月	第1回北海道地域文化選奨受賞
1999年	1月	自治大臣表彰受賞

(一財) 北海道国際交流センター(HIF)の歴史と年表

年(西暦)	内容
1979年	国際交流のつどい開始
1980年	南北海道国際交流センター 設立
1982年	後援会発足
1984年	財団法人として発足 財団法人南北海道国際交流センターに改称(北海道教育委員会認可)
1986年	日本語・日本文化講座夏期セミナー開始 財団法人北海道国際交流センターに名称変更
1990年	アクティブ・イングリッシュ開始 「国際交流のつどい」テーマ曲 「すばらしい言葉」完成
1995年	日本語・日本文化講座夏期セミナー10周年記念研究会「日本語教育・異文化コミュニケーション」開催
2000年	日本語・日本文化講座夏期セミナー15周年記念シンポジウム「『うち』と『そと』を結ぶ日本語教育」開催
2003年	HIF 25周年記念シンポジウム「国際交流から地球共生へ」
2004年	ボランティア情報誌「ボラット」発行 スタディツアー実施(マレーシア・タイ・韓国) 大沼ワークキャンプ開始
2005年	日本語・日本文化講座夏期セミナー20周年&第4回OPI国際シンポジウム
2006年	外務省NGO活動環境整備支援事業受託(全国17団体) JICAフィリピン国際協力視察
2008年	HIF 30周年記念シンポジウム「地球をつなぐ地球市民フォーラム」
2009年	田舎で働き隊(森町・ログハウス)
2010年	若者サポートステーション事業開始 田舎で働き隊(函館市・白浜の家)
2013年	一般財団法人 北海道国際交流センターに名称変更 グローバルキャリアサポート函館設置 Kitchen八幡坂運営開始
2014年	まちあるき「てくてくはこだて」実施 クルーズ客船観光案内業務開始 ボランティア情報誌「ボラット」10周年記念フォーラム
2015年	生活困窮者等自立相談・学習支援事業開始 日本語日本文化講座夏期セミナー30周年記念&第10回 国際OPIシンポジウム ふるる函館運営開始